



# 報道で紹介された美瑛高校 16

◆令和6年8月24日(北海道新聞一面 全道版)

本校のドローンについての取り組みを全道版に掲載していただきました。今後の美瑛高校の活動について注目いただいています。

様々な教育活動に活用していきます！！

## ドローン 国家資格で羽ばたけ

### 美瑛高、選択授業に導入へ

【美瑛】美瑛高（上川管内美瑛町）は2025年度以降の入学者を対象に、ドローンの国家資格を取得できる選択授業を導入する。道教委によると、道内の高校で同様の授業の導入は初めて。建設、流通、警備など多様な業種でドローンが活用され、就職に役立つ資格となり、個人利用も広がっていることから、生徒の確保につなげたい考えだ。

取得する資格は2等無人航空機操縦士。基本的な知識・技術を身に付けていることが証明され、民間資格に比べて飛行申請や許可の面で有利となる。国家資格制度は22年12月に導入され、有資格者を求める企業が増えつつある。同校は美瑛町の基幹産業である農業や観光業などでも活用できるとみて導入を決めた。

講師は札幌のドローン学校職員が務める。選択科目「環境空撮（仮称）」として2年次に計70時間実施。資格取得に向けたオンライン講座と体育館での実地練習に加え、地元の写真家らの協力を得て映像の編集や発信に取り組むことや、農業・観光などの現場での実習も計画している。25万～30万円が見込まれる資格取得費用のうち、一定額は自己負担となる。

同校は新入生が23年度16人、24年度17人と、道立高の募集停止基準（2年連続20人未満）に該当し、統廃合の危機にある。「いろんな経験をできる学校にして存続を目指す」（天野潤也教頭）として、地元関係者を講師に招き地域の魅力と課題を考える授業なども模索している。

（山中悠介）